

$$F_s = \frac{\sum N - U}{\sum T} \cdot \tan \phi' + c' \sum \frac{L}{\sum T}$$

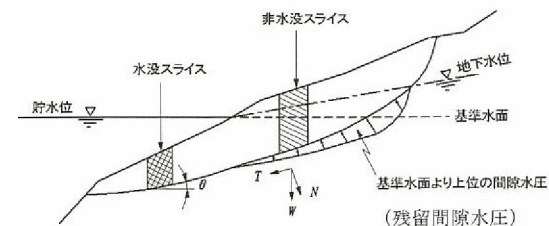
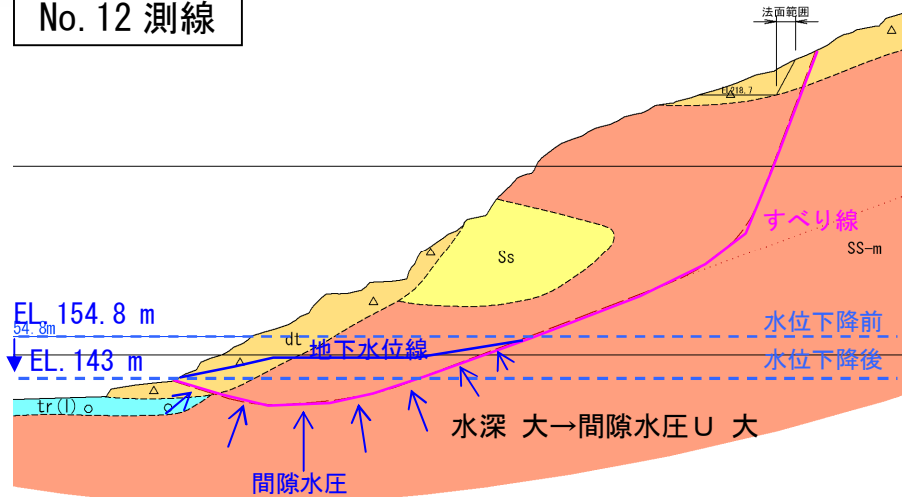
水位低下により減少 (N, U)
一定 (tan φ', c')
一定 (L)

水位低下により増加するが、
増加割合は両者一定

N、Tは、水位下降により、上昇
Uは、水位低下により、減少
c'、Lは、変化しない

N: 各スライス（分割片）に作用する単位幅あたりのすべり面法線方向分力 (kN/m)
T: 各スライスに作用する単位幅あたりのすべり面接線方向分力 (kN/m)
U: 各スライスに作用する単位幅あたりの間隙水圧 (kN/m)
L: 各スライスのすべり面の長さ (m)
φ': すべり面の内部摩擦角 (°)
c': すべり面の粘着力 (kN / m²)

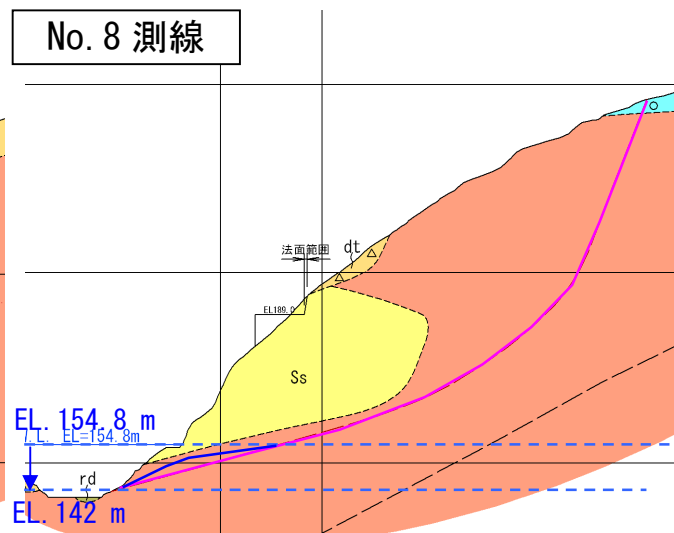
No. 12 測線



No.8 測線

- ・ 水位下降時、抵抗力・起動力は上昇
- ・ 間隙水圧の範囲が小さいため、間隙水圧の影響は小さい
- 水位下降時の安全率が小さくなる (ほとんど変動しない)

No. 8 測線



No. 12 測線

No.12 測線

- ・ 水位下降時、抵抗力・起動力は上昇
- ・ 間隙水圧の範囲が大きいいため、抵抗力の上昇は、起動力に比べて大きい
- 水位下降時に安全率が上昇する

